



## 『18歳選挙権』を前に中学生啓発講座を開催 ～楽しみながら政治との関わりを考える～

と き 3月10日(火) 午後1時30分～午後3時20分

と ころ 練馬区立豊溪中学校(旭町3-5-10)

10日(火) 豊溪中学校(日下石直美校長 生徒数160人)で、3年生48人を対象に、選挙に関する講演と、グループワークを実施した。これは練馬区選挙管理委員会が、若年層の選挙への関心を高め、投票率向上を目的に実施するもの。

区選挙管理委員会では、中学生を対象とした事業を平成17年度から毎年開催している。今回は、全国で選挙啓発活動を行っているNPO法人YouthCreate(ユースクリエイト)の原田 謙介さんを講師に迎えて実施。グループワークでは、日々の暮らしの中でどう政治と関わっているのかを、自ら考え発表した。18歳選挙権の実現により、3年後に有権者となる生徒たちにいかに選挙に関心を持たせるかが鍵となる。

参加した生徒は、「政治を身近に感じることができた。未来をつくるのは自分だと考えるきっかけになりました」と感想を話していた。



講座の様子

### 【なぜ中学生なのか】

若年層の投票率の低下が社会的な問題となっている。昨年の衆議院議員選挙の投票率は、最も若い20～24歳は29.72%で、全年代を通じて初めて3割を切った。今国会で公職選挙法改正案が成立すれば、来年夏の参院選から選挙権年齢が「18歳以上」へ下がる見通しで、若年層の選挙への関心をどう高めるかが課題となる。

区選管では、『18歳選挙権』を踏まえ、選挙や政治をもっと身近に感じ、興味を持ってもらうきっかけを作ることが重要だと考え、区立豊溪中学校(旭町3丁目)の協力のもと、今回この事業を企画した。

### 【現状】

子どもや若者が政治と接する場所や機会は、ほとんど無いのが現状である。何らかの接点が増えれば、興味・関心を持ちやすくなると、日頃から全国で選挙啓発活動を行っているNPO法人YouthCreate(ユースクリエイト)に講演を依頼した。ただ一方的に話を聞くだけでなく、中学生が日々の暮らしの中で、どう政治と関わっているのかを、グループワークを通して、生徒が自ら考え、発信する場となった。